

令和2年度 シラバス

愛媛県立津島高等学校

教科	公民	科目	現代社会	単位数	2	学年	2	類型	ビジネスコース
教科書	第一学習社 改訂版新現代社会			副教材	愛媛県高等学校教育研究会公民部門編 2020 現代社会ワークブック				

学期	月	単元名	指導項目、内容	評価の観点				学習のねらい・学習の目標・評価の観点
				①	②	③	④	学習のねらい
1 学期	4	第1編 私たちの生きる社会	第1章 環境と私たちの生活 1地球環境のいま(1) 2地球環境のいま(2)				◎	1学期は地球規模の環境問題や生命倫理など現代社会の諸問題を理解し、人間の活動とのかかわりについて理解します。また、青年期におけるさまざまな悩みと、それを克服するためにどのようにすればよいか考えます。 2学期は現代の政治や経済のしくみ、各諸問題を理解し、政治と経済の発展によって社会はどのように変化したかを考察します。 3学期は国家と私たちの関係について考え、現代政治の特質を理解します。 最後に、自由とはどのような意味をもつのか、自由の行使には社会的責任がともなうことを考えていきます。
	5	第2編 現代の社会と人間としての役割	第2章 資源・エネルギー問題と私たち 3私たちの地球を守るために 1限りある資源 2資源問題の解決をめざして 第3章 科学技術の発達と私たちの未来 1科学技術の発達と生命 2生命倫理をめぐる問題 第4章 高度情報社会と私たちの生活 1情報の高度化の進展 2高度情報社会の課題		◎		○	
	6	第1章 青年期と自己の形成	1青年期とは 2青年期を充実させるために 3伝統や文化とのかかわり 4祭りと年中行事 5社会との関わり		◎		○	
	7	第2章 個人の尊重と法の支配	1個人と国家 2法の支配 3基本的人権の保障	期末考査	○	○	◎	
2 学期	8	第3章 現代の民主政治と政治参加	1日本国憲法の基本原則 2平和主義と日本の安全保障 3冷戦終結後の防衛問題 4平等に生きる権利 5自由に生きる権利 6豊かに生きる権利				◎	人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。 ①関心・意欲・態度 現代社会の問題に興味や関心を持ち、自ら課題を発見したり自ら課題と関わろうとすることができるか。 ②思考・判断・表現 社会事象を多面的・多角的に捉え、他の事象と比較・検討し関連を考察して、それをノート、学習プリント、発表資料、レポートなどに記述できるか。 ③資料活用の技能・表現 必要に応じて多様な情報を活用し、追求活動に有用な資料を選択、収集することができるか。資料の持つ特性を踏まえて的確に情報を活用することができるか。 ④知識・理解 学習した内容を理解し、知識を身につけているか。小テスト・定期テストの知識・理解に関する設問ができるか。
	9	第4章 国際政治の動向と日本の役割	1国家主権と国際法 2国際連合の役割と課題 3第二次世界大戦後の国際社会 4冷戦終結後の国際社会 5核兵器の廃絶と国際平和 6地域紛争と人権 7国境と領土問題				◎	
	10	第5章 現代の経済社会と私たちの生活	1経済と私たちの生活 2経済体制の変容 3現代の企業 消費者教育出前講座	中間考査	○	○	◎	
	11	第6章 国際経済の動向と日本の役割	1国際分業と貿易 2国際経済体制のあゆみ 3国際収支と為替相場 4国際経済	期末考査	○	○	◎	
3 学期	1	第7章 現代の政治と政治参加	1日本国憲法の基本原則 2平和主義と日本の安全保障 3冷戦終結後の防衛問題 4平等に生きる権利 5自由に生きる権利 6豊かに生きる権利				◎	
	2	第8章 現代の経済社会と私たちの生活	1経済と私たちの生活 2経済体制の変容 3現代の企業 消費者教育出前講座				◎	
3	第9章 現代の政治と政治参加	1日本国憲法の基本原則 2平和主義と日本の安全保障 3冷戦終結後の防衛問題 4平等に生きる権利 5自由に生きる権利 6豊かに生きる権利				◎		

※評価の観点 ①：関心・意欲・態度 ②：思考・判断・表現 ③：資料活用の技能・表現 ④：知識・理解

◆学習方法のポイント

【現代社会を勉強するときに】

- 世界で起こっている様々な出来事に興味・関心を持ちましょう。
- 異文化理解に必要な知識や能力を身につけましょう。
- 時事問題を読み解く力を身につけましょう。
- 継続して取り組む意欲や態度を養いましょう。
- 今、起こっている諸事象に目を向けましょう。
- 雑念を払い集中して考える力を身につけましょう。
- 家に帰っても本や新聞を読みましょう。

【授業】

- 週に2時間の授業があります。
- 1つの単元の授業の流れは、次のようになります。
 - ①教科書をよく読みます。
 - ②出てくる基本的用語について、その意味を確認します。
 - ③各単元のテーマについて理解します。
 - ④ノートを用いて内容を確認します。
- ノートは、板書に加えて口頭で示された重要ポイントも記し、工夫された「自分のノート」を作りましょう。
- 統計資料や表・グラフを読み解く力を身につけるために、作業学習も行います。
- ワークブックを用いて復習を行います。
- 授業開始の1分前には着席をして、教科書・ノート等の授業準備をするように習慣づけてください。
- 常に「なぜ？」という問題意識を持ち、探求的な態度で取り組みましょう。

【家庭学習】

- 新聞やテレビのニュースなどに関心を持ち、広い視野で多角的に物事を見るように心掛けましょう。
- 分からない漢字や用語は辞書で調べましょう。
- 日頃から本を読んで、文章を読み、書いてあることを理解する力を身につけましょう。

【定期考査】

- 教科書・ノートを読み直し、授業内容を確認しましょう。
- ワークブックを利用して模擬問題を解く練習をしましょう。
- 基本的な用語はその意味を把握し、正確に書けるように訓練しましょう。
- 特に漢字は正確に書くことを心掛けましょう。

◆評価の方法、規準

評価の方法	定期考査、授業への出席状況および学習意欲、課題提出とその内容、ノートの整理状況を ①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現 ③資料活用の技能・表現 ④知識・理解の四つの 観点から評価します。ただし、定期考査を重視します。	
評価の規準	1 学期	単元テスト、期末考査(全ての観点から評価しますが主に④を重視します。) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②の観点から評価します。)
	2 学期	中間考査、期末考査(全ての観点から評価しますが主に④を重視します。) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②の観点から評価します。)
	3 学期	学年末考査(全ての観点から評価しますが主に④を重視します。) 出席状況および学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②の観点から評価します。)
	学 年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績の平均